

京師帝國大學法學科大學

# 經濟論叢

第四卷 第六號

大正六年六月一日發行

## 論說

中壽ノ説(二).....法學博士 財部 靜治  
 奢侈税ノ本質及其構造.....法學博士 神戶 正雄  
 『座』ノ研究(三、卷).....文學博士 三浦 周行  
 東洋ニ於ケル古代ノ社會政策.....瀧本 誠一

## 時事問題

船腹調節策.....法學博士 戶田 海市  
 禁輸及關稅ニ依ル包圍攻撃.....法學博士 神戶 正雄  
 米國ノ勞働缺乏ト日本移民.....米田庄太郎

## 雜錄

Utilityノ譯語ニ就イテ.....法學士 小島 祐馬  
 海上保險發展史ニ關スル一異説.....法學士 小島 昌太郎  
 山片幡桃ノ米價論.....法學士 本庄 榮治郎  
 精神の活力ト年齡.....法學博士 河上 肇  
 佛領亞弗利加植民地鐵道ノ現在及將來.....財部 靜治  
 Ch. Boothノ死ヲ聞キテ.....法學博士 山本美越乃

## 東洋ニ於ケル古代ノ社會政策

瀧 本 誠 一

社會政策ト云フト甚ダ近世的デアツテ而カモ亦甚ダ六ツカシク聞ユレドモ是レハ頗ブル平凡ナ説デアツテ、其ノ實別ニ新ラシキ學説デモナク、又左程六ツカシキ仕事デモナク、畢竟支那學者ノ謂ハユル聖學、和學者ノ稱スル國學ト云フモノト、殆ンド同ジ様ノモノデアアル、彼ノ支那學者ガ王道、即チ先王ノ道ヲ講ズルヲ以テ聖學ノ本旨トシ、和學者ガ皇道即チ我カ祖宗ノ鴻謨ヲ紹述スルヲ以テ國學ノ大綱トスルノト、其ノ精神ニ於テ少シノ差異ナシト信ズルデアアル、コレハチヨツトコレダケデハ甚ダ附會ノ説ノ様ニ聞ユレドモ、私ハ事實必ズシモンウデアアルマイト信ズルデアアル、

佐藤信淵ガ農政本論ニ「皇國古代ニハ、百姓ヲ御實ト稱ス、慈惠ヲ篤フシテ此ヲ撫綏シ、懇誠ヲ盡クシテ此ヲ教訓シ、各々日用ノ彝倫ヲ修メ、其稼穡ヲ勉勵セシメタルモノ也」ト述ベテ居リマシガ、是ハ「百姓ハ國家ノ根本ニシテ農業ハ政事ノ基原デアアル」ト云フ原則ニ出デタル事デアツテ、皇國ノ學問、即チ皇學ノ目的トスル所ハ、結局此ノ原則ヲ標準トシテ、神祖以來歷代ノ天皇方ガ、百姓ヲ憐ミ農政ニ注意セラレタル事蹟ヲ講明スルニ過ギナイデアアル、今世間ニ於テ所謂國學ナルモノハ、國語和歌ナドノ研究ノミヲ意味スルモノ、様ナレドモ、<sup>(2)</sup>其實國學ハ左マデ淺

(1) 林綱曰古者以仁爲備以教化爲吏而備與吏爲一(源流至論)

(2) 帆足万里曰眞淵宣長等ノ學ヲ所ハ巫祝ノ作法サテハ歌學也(東瀛夫論)

薄ノモノニアラズ、之ガ奥義ハ皇道ヲ研究スルモノデアツテ所謂ル皇道トハ即チ前ニ云ヘル祖宗ノ鴻謨ヲ紹述スルニ外ナラナイノデアアル、祖宗ノ鴻謨ハ至仁至慈ノ農政ニ外ナラナイコトハ、國史ヲ一讀シタルモノノ皆能ク諒知スル所デアアル、故ニ此ノ至仁至慈ナル農政ガ如何ニ近世ノ社會政策ニ酷似シテ居ルコト、否酷似シテ居ルニアラズ、全然其ノ根本的ノ主義ヲ同ジクシテ居ルコト云フコトハ甚ダ著明ノコトデアリマシテ、之ヲ研究スルハ、頗ブル興味アルコトトシズルノデア

ル、サテソレニ付キマシテ私ハ先ヅ此ニハ主トシテ、支那ノコトヲ述ブルヲ便利ト考ヘルノデアアル、ソレハ一ツニハ支那ノ方ガ歴史ガ古クツテ、制度ガ完全ニ備ツテ居タノト、又一ツニハ日本ノ農政ノ備ハツタ時代ニハ、多ク支那ノ勢力ガ入込デ來テ殆ンド之ニ模擬シタ點カ少ナカラヌガ故デアアル、加之ナラズ徳川時代ノ學者達ガ、日本ノ制度ヲ講明スルノニヒ、専ラ支那ノ制度ニ當テハメ支那ノ言語ヲ以テ論述シテ居ルガ故ニ、先ヅ學問ノ宗家タル支那カラ研究ヲ始メル方ガ、便利デアルト信ズルカラデアアル、萩生徂徠ハ國學者流カ皇道ナドト云ツテ、日本ニ立派ノ政道ガアルラシク吹聴スルハ、彼徒ノ瘠我慢デアアル、皇道トハ支那ノ先王ノ道ヲ真似テ名付ケタルモノニテ、元來夷狄ノ國ニ道ノアルベキ筈ハナシト云ツテ居ルノデアアル（忍尊帖）コレハ勿論過激ノ言ノ様ニ思ハルレドモ兎ニ角支那ノ先王ノ道即チ王道（又聖道トモ云フ）ト國學者ノ皇道トハ、其ノ實質ニ於テ差シタル大差ナイノデアアル、<sup>(3)</sup>國體論ハ別問題トシ、専ラ政治ノ主義ニ付キテ之ヲ評スレバ、彼我殆ンド同一ニシテ、我レノ彼レニ倣ヒ彼レヲ學ベルコト、鮮少ニ止マラザルハ明カデア

(3) 日本ハ皇統連綿天子萬能ノ國柄デアアルガ、支那ハ仁義萬能ノ國デアアル、仁義ノ爲メナラ君主ノ放代チ是認スル國デアアル、仁義ヲ忘ルル君主ハ君主ノ資格ナシトシ、只ダノ一夫ト見做サルル國柄デアアル、支那ノ仁義萬能主義ハ米國ノ自由萬能ニ同ジコトデアアル

ツテ、是レガ支那ノ研究ヲ先ニセザル可ラザル所以デアアル、即チ支那ノ王制ナルモノガ、如何ナル程度迄近世ノ社會政策ト其ノ根本ヲ同ジクスルカヲ研究スルノガ我々ノ先務デアアル、

サテ私ガ此ニ所謂ル古代ノ社會政策トハ支那三代ノ王政ノコトデアツテ、三代トハ支那ノ夏、殷、周。ノ事デアアル、三代ノ王制トハ此ノ三代ニ行ハレテ居ツタト假定セララルル政治ノ組織ヲ云ツタモノデアアル、併シ三代ト云ツテモ夏殷ニハ充分ニ組織ノ備ハツタモノモナク、周ニ至リテ全ク完成シテ、所謂ル周官ナルモノガ出來タノデアアル、夏ノ禹王ガ舜ニ用ラレテ、洪水ヲ治メ、境界ヲ正シクシ、貢賦ヲ平ニシ、兼テ又后稷ヲ擧ゲテ、民ニ稼穡ヲ教ヘタルハ、農政ノ行ハレタル濫觴ナルベキモ、其ノ詳シキ仕組ハ、今之ヲ知ルコト能ハズ、僅カニ史記ノ平準書及禹貢等ニ因テ、其政策ノ一斑ヲ知ルノミデアアル、然レドモ之ニ因テ禹ノ經濟政策、即チ懋遷有無ノ大政策ガ權貨法ノ根本デアアルト云フ事ガ明カデアアル、殷ニ至リ湯王ガ伊尹ヲ擧ゲテ行ヒタル大政策ハ、後來管仲ガ大ニ之ヲ贊稱シテ、齊國ニ實行シ、爾後經濟ヲ談ズル者ハ皆之ヲ祖述シタルモノニテ、我國ノ佐藤信淵ノ如キスラ、我家ノ經濟學ハ、全ク此 伊尹ノ法ニ基クモノナリト明言シタル位デアアル、伊尹ノ法トハ、他ニアラズ先ヅ商國(殷ハ初メ商ト稱ス)ノ賈人ヲ撫御愛育シテ、前代夏ノ禹王ノ行ヘル大經濟道ヲ根本トシ、萬物ヲ商丘ニ聚集シテ、之ヲ管權販賣シ、以テ萬貨ノ決塞ヲ開闢スルノ政策デアツテ、之ガ爲メニ夫レ夫レ其ノ官府司職ヲ設ケテ、大仕掛ニ一切ノ商品ヲ專賣ニスルト云フ盛ナル大社會政策デアアル、但シ此ノ大政策ガ如何ナル仕方ニテ、如何ナル狀況ニ實行セラレタルモノカ、其ノ詳細ノ事ハ歴史ニ見ヘザレバ、之ヲ詳ニスルコトハ、出來サレドモ、

太古幼稚未開ノ世ノ中ニ在リテハ或ハ此等ノ事モ思ヒノ外容易ニ行ハレタルヤモ知レズ、其後周ノ世ノ中トナリ、伊尹ノ組ンダル程嚴重ナル權貨法(專賣法)ハ實行サレナカウタコトト思惟スルモ、此ノ時代ニハ政府干涉ノ法ハ、次第々々ニ秩序的ニ完備シテ、遂ニ彼ノ周官ノ如キ立派ナル官制トナツテ現ルルニ至タノデアアル、而シテ此ノ周官ト云フハ、周公ガ作ラレタモノトシテアルモ、後ノ學者ハ往々之ヲ以テ僞作トナシ、中ニハ漢ノ劉歆ガ作ツタモノダト云フ説アリ、果シテソウデアアルヤ否ハ知ラザレドモ、兎ニ角周官ニ書イテアル様ノ事ガ夏殷及周ノ初代ニ行ハレテ居タト云フコトハ、諸學者ノ概テ一致スル所デアウツテ支那ノ多クノ學者ハ皆大ニ之ヲ尊重シテ居ツタモノデアアル、

周官ノ細目ハ、中々一朝一夕ニ説明スルコト能ハザルモ先ヅ其書ニ就キ大體ヲ述ブレバ全書ヲ六篇ニ分ツテ之ヲ天地四時ニ配シ、天下ノ大政ヲ總攬スル官ヲ天官冢宰ト云、土地人民ヲ掌ル官ヲ地官司徒ト云、天地宗廟ノ祭祀及禮樂ヲ掌ル官ヲ春官宗伯ト云、兵賦軍旅ノ事ヲ掌ル官ヲ夏官司馬ト云、刑罰制禁ノ事ヲ掌ル官ヲ秋官司寇ト云、地利營作ノ事ヲ掌ル官ヲ冬官司空ト云フノデアウツテ、其ノ一官ニ屬官六十宛、總テ三百六十官アリ、一年ノ日數ニ象リタルモノニシテ、其ノ形式ハ甚タ完備シタモノデアアル、今茲ニ民政ニ最モ直接ノ關係アル、地官司徒ノ諸職ニ就キテ一例ヲオ話スレバ、支那太古ノ政事ガ、ドンナモノデアウツダカガ、明カデアラウト思惟スルノデアアル、地官司徒ノ職務トスル土地人民ヲ掌ドルト云フコトハ、孔子ノ云ハレタル如ク、富スト教ユルトノ二ツデアウツテ、實ハ其中デモ教化ガ主デアアルガ故ニ、此ノ官ハ一ニ教官トモ稱シ、人君ニ代ハ

(4) 後漢ノ何休ハ周官ヲ以テ六國陰謀ノ書トシ隋ノ王通ハ之ヲ以テ王道ノ極トシ唐ノ太宗亦之ヲ贊美シテ、眞ノ聖作ナルベシトシ、司馬光、胡安等ハ之ヲ僞作トセルモ、王安石及朱熹ハ同時ニ之ヲ尊信セリ

リテ良民ヲ養育スルノ大任ヲ負ヘルモノデアル、教官ト云ツテ學校教師テモナク、又今ノ文部官吏デモナク、近時内務省ナドデ云フ所ノ民育 (Civic Education) ノ事ヲ掌ルモノデアル、然レトモ民貧窮ニシテ朝夕飢寒ニ迫リツツアルト云フ状態デハ、聖賢ト雖トモ、之ヲ教化スルコト出來ザルユエ、先ツ之ヲ富マスコトヲ計リテ、衣食住ニ差支ヘザル様ニスルガ肝心デアル、ソレデ此ノ司徒ノ職掌ハ掌<sub>下</sub>建邦之土地之圖與<sub>三</sub>其人民之數<sub>二</sub>以佐<sub>レ</sub>王安<sub>レ</sub>擾邦<sub>上</sub>ト申シマシテ、天下州縣ノ疆域、山林川澤ノ形勢等ヲ、委ク圖面ニ形ハシ、男女人民ノ數ヲ調ヘテ戶籍帳ヲ造リ、之ヲ土臺トシテドノ地方ニハ、ドンナ物ヲ靴<sub>カ</sub>ルガ良シ、ドノ地方ハドンナ物ニ適スルト云フコトヲ、能ク取調べ置キ、夫レ夫レ土地ヲ人民ニ分配シテ、農事ヲ油斷ナク獎勵スルコトデアル、凡テ此等ノ事ハ誠ニ心切丁寧ニ具備シテアルノデアルガ、其ノ中我々ノ最モ注目スベキハ聚民、養民、安民ノ三法デアル、

(一) 聚民トハ凶荒ノ時ニ、萬民ヲ離散セザル様ニスル政ニテ凡テ十二個條アリ、

- 一、散利 倉廩ヲ發キテ、錢穀ヲ散スルコトニテ、或ハ貸シ、或ハ與フルナリ、
- 二、薄征 租稅ヲ輕減スルナリ、
- 三、緩刑 凶年ニハ民飢渴ニ逼リテ、法禁ヲ犯シ易キ故ニ之ヲ緩フス
- 四、弛力 力役ニ使フコトヲ免スルナリ、
- 五、舍禁 凶年ニハ山澤ノ禁ヲ解イテ、萬民自由ニ山澤ニ入テ、漁樵スルコトヲ舍<sub>ユル</sub>スナリ、
- 六、去幾 凶年ニハ關所(幾)ヲ解放シテ、往來ノ自由ヲ得セシメ、以テ萬民稼ギノ爲メニ勝手

(5) 支那ノ留學生但壽數年前ニ周禮政證ヲ著<sub>ハシ</sub>、地官司徒ヲ文部大臣ニ比セリ、是レ大ナル誤デアル

ニ出入スルコトヲ許スナリ

七、青禮 青ハ省ニテ常式ノ吉禮ヲ省略スルナリ、

八、殺哀 同シク喪禮ヲ省略スルナリ

九、蕃樂 蕃ハ藩ノ字ト同シ、樂器ヲ閉藏メテ、樂ヲ爲サザルナリ、

十、多婚 婚禮ニハ様々ノ儀式アル事ナレドモ、凶年ニハ總テ之ヲ簡略ニシテ、容易ニ結婚

ヲ爲サシムルナリ、

十一、索鬼神 鬼神ヲ來メテ助テ祈ルナリ、

十二、除盜賊 凶年ニハ盜賊多キユヘ刑ハ緩カニスレドモ、其取締ハ却テ之ヲ嚴重ニスルナ

リ、

(二) 養民トハ萬民ヲ保息スルコトニテ六個條アリ、

一、慈幼 幼兒ヲイタハルコトニテ、古法ニ十四歲以下ノ者ニハ力役ヲ免スルコトアルノ類

ナリ、

二、養老 五十ノ者ハ郷ニ養ヒ、六十ハ國學(小學)ニ養ヒ、七十ハ大學ニ養フナリ、<sup>(6)</sup>

三、振窮 鰥寡孤獨ハ窮シテ告クル無キ者ナレバ此等ノ民ヲ詮議シテ恵ミ賑フノ政ナリ、<sup>(ニキヤ)</sup>

四、恤貧 遺人職ソノ倉廩ヲ發キテ、貧乏ナル人民ヲ救濟スルコトナリ、

五、寬疾 痼疾癘疾ノ者ハ力役ヲ全免又ハ半減スル等ノコトナリ、

六、安富 富メル者ト云ツテ猥リニ負擔ヲ重クスルコトナク、賦稅力役等ヲ平等ニシテ、安

(6) ニ學シ終者大蓋バ若深コ見キノレシテ、南アルシ入ナルベシ・理アルナリキナ食ナベリ誤折ノ養フノ酒ノ養フノ時ムナ養フ天ヒノル南子タ人チ南ニ位十五行十テ位十五意下祖レノニ天父是尊一付ソモ人リ、老シド老子ニハハム者難如フシノニ云フ十ノト知五爲モ老ヲハノス養道ニ國ニニ篇、育コ悌老孫養コ孝養子身

心ヲ得セシムルナリ、

(三) 安民トハ風俗ヲ厚クシ、萬民ヲシテ他郷ヘ離散セシメサル様ニスル政ニテ六個條アリ、

一、燬宮室 萬民ノ家宅ヲ堅固ニシテ、風物ノ惠ナカラシムルナリ、

二、族墳墓 族ハ同族ノ族ニテ、同族ノ者ハ墳墓ヲ一ツ所ニ定メ、死シテモ生時ノ如ク相親

近セシムルコトナリ、

三、聯兄弟 兄弟親シク相交リテ離レ離レニナラヌ様ニスルコトナリ、

四、聯師傅 師傅ハ郷里ニ於テ人ヲ教フル師ナリ、子弟ヲシテ師ニ敬事セシメテ、常ニ其ノ

關係ヲ離レサラシムルハ民俗ヲ厚フスル所以ナリ、

五、聯朋友 朋友ノ交ヲ厚クシ、萬事互ニ相助ケテ離レザラシムルナリ、

六、同衣服 富ル者モ貧キ者モ衣服ヲ同ジヤウニシテ、富メル者ハ華美ヲ盡サス貧キ者ハ富

メル者ヲ羨ム様ノ根性ヲ起サシメヌ様ニスルコトナリ、

此ノ外二十二ノ職事ヲ頒ツト云フ事ガアツテ邦國郡縣ニ民ノ職業簿ヲ調製セシメテ、各人ニ夫レ夫レ適當ノ職業ヲ授ケルコトナリ、其十二職事ト云フハ一ニ「稼穡」是レハ大宰九職ニアル「三農生九穀」ト云フニ基キ、山農、澤農、平地農ニ黍稷稻粱ノ作り方等ヲ教ユルヲアル、二ハ「樹藝」是レハ九職ノ「園圃毓草木」トアルニ依リ、園圃ノ作り方、即チ草木野菜類ヲ作ルコトヲ教ユルナリ、三ハ「作材」是レハ九職ニアル「虞衡作山澤之材」ノコトニテ、山川ヲ管理シ、林木ノ植付伐採ノコト及捕魚養魚ヲ保護監督スルナリ、四ハ「阜蕃」是レハ九職ノ「藪牧養蕃鳥獸」トアルコトニテ、牧畜飼鳥ノ職ナリ、五ハ「飾材」是レハ九職ノ「百工飭化八材」トアルニ基キ、金石珠玉羽革象木ノ八材ヲ細工スル諸工人ヲ云フコトナリ、六ハ「通財」是レハ九職ニ「商賈阜通貨賄」ニテ商業互易ノ事ヲ掌ルナリ、七ハ「化材」ニテ九職ノ「嬪婦化治絲枲」ニ基キ絹糸麻糸等ヲ



紡リコトナリ、八ハ「斂材」是レハ九職ニ「臣妾聚斂疏材」トアルニ基キ、臣妾ト云ノ奴婢ガ疏材トテ百草ノ根ヲ實ノ食フベキモノヲ山野ヨリ斂メ來ルコトナリ、九ハ「生材」是レハ九職ノ「閭民無常職轉移執事」ニ基キタルモノニテ、閭民トハ貧備ノ類ニテ、時々貧銀ヲ貸ヒ備ハレテ人ノ仕事ノ助クルモノナリ、以上ノ九事ハ皆大宰ノ九職ニ基キタルモノニテ、他ノ三事ハ、十二學藝、十一ニ世事、十二ニ服事ト云フ、世事ハ巫醫ノ類、服事ハ下級ノ公官吏名譽職ノ類ヲ云フナリ、

先ツ周官地官ノ職掌ハ大體以上ノ通りナレドモ元來周官ニ揭ケアル總テノ職制ハ、互ニ相關聯シテ六官ミナ共ニ相依リ相助ケテ頗ブル完備シタル大仕掛ケノ干涉政治ヲ行ヒ、富レ之シテ且ツ教ヘ、教レ之テ又富マスト云フ様ニ、富教相待テ、純ラ風化ノ行ハルル様ニ仕向ケタモノデアツテ、此時ノ社會ノ狀態ハ鄭伯謙ガ云ヒシ如ク「一世之人皆安於法度分守之内、志慮不易、視聽純一」ト云フ有様デアツタノデアラフ、扱コノ通ノ事ガ果シテ古代ニ行ハレテ居タモノカドウカハ確トハ分ラザレドモ、三代ノ聖王時代ニハ左モアリソフナ事トシテ、多クノ學者ガミナ信ジテ居タモノデアアル、併シ我々共ガ今日ノ眼デ見マスルト、希臘羅馬ノ古ニハ矢張り是レト類似ノ政治ガ行ハレテ居リ、又殊ニ三代王制ノ根本タルベキ井田法ノ如キ事ハ太古ニハ何クニモ行ハレテ居リマシタモノデ、魯西亞ノ「ミル」瑞西ノ「アルメンヅ」獨逸ノ「マルク」等ハ、何レモ近似シタモノデアアル、又是レラノ事ヲ考ヘテ見マスルト古代ノ文明一於テ、第一等國タリシ支那ノコトデアレバ前述ノ如キ完備シテ居ル制度ガ行ハレタコトガナイトモ限ラナイノデアアル、我々ハドウカト云ヘバ寧ロ實際ノ事實ニ於テ、是レニ近キ事ガ、確ニ行ハレテ居ツタコトト想像スルノデアアル、周官ノ僞作デアアルカ否ハ今ニ決セヌ問題ナレドモ、兎ニ角此ノ書ニ揭ゲアル六官ノ職制ハ前ヘ陳

ベシ通リ誠ニ精巧ニ出來タモノデアツテ大政總攬ノ方法ヨリ祭禮、教育、民事、軍事、理財、租稅ノ事ヨリ、百工ノ管理法ニ至ルマデ、精微ヲ盡クシテ、書列子タルモノニシテ、之ヲ一見スレバ、當時治國ノ綱紀、燦然トシテ備ハリ居タルヲ見ルベクシテ、如何ニモ聖人ノ制作ニ紛レナキ様ニ思ハルルヨリ、歷世ノ帝王及學者達ガ或ハ新ニ制度ヲ改廢シ、或ハ其ノ利害得失ヲ論ズルニ當リテハ、皆此ノ周官ヲ藍本トシ、如何ナル大政治家如何ナル大學者ニテモ、其ノ制度ヲ論定スルニ於テハ、必ズ之ヲ標準トシタルガ如キ、最モ有力ノ「オーソリチー」タリシコトハ疑フ可ラザル事實ナレバ周官其物ノ眞僞ハ、兎モ角モ其ノ勢力ハ漢代ヨリ現時ニ至ルマデ、數千年ノ間、支那政海ノ思潮ヲ支配シテ居ツタモノデアツテ、苟モ口ニ政治ヲ談ズル者ハ、何レモ周官ヲ土臺トセザルモノナシト云フ有様デアツタモノデアアル、故ニ我々ノ最モ注意ヲ要シ、最モ講究セザル可ラザルモノハ、周官ソノ物ヨリハ、周官ガ先王ノ遺法トカ、先聖ノ遺意トカ、種々ノ口實ノ下ニ、歷代ノ政治思想ヲ左右シタ、間接ノ大勢力デアリマシテ、殊ニ此ノ大勢力ハ、何レモ社會的ノ大政策トナリテ、時々歴史ニ現ハレタコトデアアル、今一二ノ實例ヲ擧ゲマスレバ

管仲ガ伊尹ノ政策ヲ踏襲シテ、一國ノ產物ヲ盡ク國家ノ專占トナシ、所謂ル通移輕重、開闔決塞ノ政ヲ行ツテ、先ヅ盛ニ國庫ノ充實ヲ計リ、而シテ後大ニ貧窮ヲ賑恤シ、以テ民心ノ收攬ヲ勉メ遂ニ齊國ヲシテ兵車ヲ用ヒズシテ、天下ニ朝タラシメタルハ、孔子スラ之ヲ稱賛シテ、如其仁、如其仁ヤト云ハレタル位ナルガ、是レハ必ズシモ皆周官ノ治方ヲ標準トシテ、行ツタモノニアラザルベキモ（周官ヲ以テ漢代ノ僞作トスレバ）管子ニ據ツテ、其ノ施政ノ方法ヲ推測スレバ、矢

(8) 鄭伯謙ノ説ニ依レバ孔子、文中子、及伊洛橫渠ノ諸子ハ自分ガ朝ニ立テ周官ヲ用フルニ至ラザリシヲ遺憾トシ、房玄齡、杜如晦、魏徵ハ己ガ朝ニ立チシモ、用フル事ノ出來ザリシヲ愧テ、漢ノ劉晏、宋ノ王安石ハ善ク之ヲ用ヒザリシヲ悔ヒタリト云ヘリ、

張り周官ノ遺法ト少シノ逕庭モナク、先ヅ民ヲ富マシテ而シテ之ヲ教へ、以テ俗ヲ易へ風ヲ移スノ手段ヲ採リシモノデアル、所謂ル衣食足デ禮節ヲ知ルト云フ、自分ノ名言ヲ實行シタモノデアツテ、當時齊國ニ行ツタ官制ノ事ナドハ委シク分ラザレドモ、ツマリ形式ハ周官ト大同小異デアツタト思ハルルノデアル、

其後漢ノ桑弘羊ハ京師ニ平準館ヲ置キ、各郡國ニ均輸官ヲ置キ、天下ノ貨物ヲ官府ニ獨占シ、其價貴キ時ハ之ヲ賣リ、賤キ時ハ之ヲ買ヒ、富商ヲシテ利ヲ斷斷セシメス、物價之カ爲メニ騰涌セズ、名ケテ平準法ト云フ、是レ實ニ物價ノ「スタビリティ」ヲ保持スルノ良策デアルガ、矢張り周官ノ司市ノ職掌ニアアル、恆價ヲ保タシムルノ主意ニ基キタルモノデアアル、魏ノ李悝、漢ノ耿壽昌ノ常平倉ハ、米價賤ナレバ價ヲ増シテ以テ買入レ、價貴ケレバ之ヲ減シテ以テ賣出スノ仕組ニシテ、穀價ノ平準ヲ維持スルノ良法ナリトテ、天下之ヲ便ナリトシ、次キテ東漢ノ明帝、晋ノ武帝、齊ノ武帝等ヲ始メ引續キテ歷代皆之カ實行ヲ試ミタノテアルガ、是レ皆平準法ト同シク、周官ノ遺意ヲ行ツタモノデアアル、其後情ニ義倉アリ、唐ニ社倉アリ、和糴アリ、宋ニ義倉アリ、折中倉アリ、惠民倉アリ、又朱子ノ社倉法アリ、其名種々アルモ、要スルニ皆ナ周官泉府ノ主意ニ外ナラナイノデアアル、然レドモ周官ニ基イテ實行ヲ試ミタル大政策ハ夫ノ有名ナル王安石ノ青苗法デアアル、青苗法ノコトヲ述ブレバ事頗ブル長ケレドモ其ノ大體ノ主意ハ極メテ簡單ノモノデ、農民ガ苗ヲ植付ケタ時ニ、衣食ノ費若クハ農事用ノ入費ニ所用アリタル時、其ノ農民ノ請願ニ依リ、相當利息付ノ錢ヲ官府ヨリ貸與シ、秋穫ノ節ニ元利ヲ返濟セシムルト云フコトニ過ナイノデア

(9) 朱子ノ社倉法ハ王安石ノ青苗法ニ異ナラズ、只々錢ヲ貸スト、穀ヲ貸スノ差アルノミト牧令輯要ニ見ユ

ル、安石カ此ノ法ヲ行フノ精神ハ、全ク周官ニ出テタルコトニテ、之ヲ實行セントスルニ先チ彼レハ自ラ周官新義十六卷同附錄一卷ヲ著ヘシテ、之ヲ自箇ノ新法實行ノ職責ニ當ラシメントスル各官人并ニ學者ナドニ配布シ置キテ、己ガ精神ヲ國人一般ニ吹込ミ置カントシタノデアアル、其ノ用意ノ周到ナリシニモ拘ハラズ、安石ノ此ノ大政策ハ遂ニ失敗ニ終ツタノデアアル、誠ニ惜ムベキコトデアアル、清ノ龔開園ト云フ人ハ、市糴常平ヲ論ジテ按、周官泉府、有ニ斂貨出滯、國服爲息之法、而後之均輸、平準、市易、青苗、小人漁利乃曰源本ニ周公、夫桑孔之譴、己失ニ管仲李愷之意、而安石蔡京、并不レ能行ニ桑孔之遺法、何可シ曰ニ此周公之意ニ耶、ト評シタルモ、是レハ杜撰ノ批評デアアル、安石ノ失敗ハ制度ノ可否ニアラズ、周官ノ遺法ヲ得サリシガ爲メニアラズ、其失敗ノ原因ハ重ニ彼ガ云ヒシ三不足ノ言ニアリシナリ、天災恐ルルニ足ラズ、祖宗法ルニ足ラズ、人言怖ルルニ足ラズト云フ事ノ實行ガ輿論ノ沸騰ヲ招キ、人君ノ心ヲ動カシタル結果デアアル、併シ此ノ事ハ別問題トシテ且ク措キ、兎ニ角王安石ノ大政策即チ青苗法ヲ始め均輸法(餘アル所ニ高ク買ツテ足ラサル所ニ賤ク賣ル平準法)等所謂ル新法ノ目的ハ、皆周官ニ基キタル仕方ニ違ナイガ、但タ其ノ實行ニ於テ種々ノ惡弊ヲ生シ、折角ノ良法モ思ノ外ニ不成績ナリシコトハ疑ヒナキ事實デアツタデアラフ、王安石曰ク周置ニ泉府之官、以レ權制ニ兼併、均ニ濟貧乏、變ニ通天下之財、後世唯桑弘羊、劉晏、組合此意、學者不能レ推ニ明先王法意、更以爲、人主不當ニ與レ民爭ニ利、今欲レ理財、則當下脩ニ泉府之法、以收利權云々ト安石ノ精神ガ飽迄周官ノ遺法ニ出ラタルコトハ、此ノ一言ニテモ明カデアアル、又彼ノ死後徽宗帝ガ安濟坊ヲ州縣ニ置キテ貧病者ヲ養ヒ

居養院ヲ京師ニ置キテ、鰥寡孤獨ノ者ヲ處ラシメタルガ如キ、是又周官ノ遺法ニ從ヒテ、社會政策ヲ行ヒタル美談デアル、

支那ノ政治ガ少ナクトモ其形式ニ於テ皆三代ノ王制ニ法リタルコトハ、以上ノ實例デ明瞭デアラフト思惟ナルモ更ラニ其ノ根本ニ入り王制ノ基ク所ノ精神ヲ考フレバ、甚タ簡單ナルモノデアツテ、所謂ル王道、即チ先王ノ道ト云フ事ガ、アラユル制作ノ精神デアツタノデアル、即チ王制ハ王道ノ結晶體デアツテ王道ノ精神ガコモツテ居ラザレバ、王制ハ生活ナキ形バカリノ骸骨ニ過ナイデアル、嘗タ王制バカリデハナイ、支那古今ノアラユル制度ハ、皆ナ此ノ先王ノ道ト云フコトヲ土臺トシ、之ニ從ヒ之ニ準シテ、制作シタルモノデアル、即チ支那ノ政治ハ其ノ形式ノ如何ヲ問ハズ、概テ皆王制ノ精神ニ則リタルモノデアツテ、此ノ點ガ近世ノ社會政策主義ト接觸スル重要ノ點デアル、

王道ト云フコトハ何物カト云ヘバ、之ノあぶすとらくとノ語ヲ以テ云ヘバ仁デアル「ひゆうまにち」デアルこんくれいとノ語デ云ヘバ禮デアル「おるだ」デアル、今少シク具體的ニ云ヘバ、民ヲ恤ミ民ヲ愛シ、惡ヲ避ケ善ニ導キ、安全幸福ヲ得セシムルト云フコトニ過キナイノデアル、更ラニ又一步ヲ進メテ云ヘバ一國ノ主權者タル君主ハ、國民ニ衣食住ノ不足ナカラシメ、其ノ心性ヲ改良シ、其本能ヲ發達セシメ、以テ向上ノ生活ヲ爲サシメントスルデアツテ詰リ獨逸ノ古キ學者ガ云ヘル「くるつゝる、すたゝと」ノ理想ニ符合スルノデアル、前ニ大體ヲ述ヘタル周官ノ制ヲ見マスルト、田地ノ境界、作物ノ可否、耕耘稼穡ノ方法等、農事ニ關スルコトヲ始メトシ

テ、山林川澤ノ保護、市場驛路ノ取締等ヨリ、職業ノ撰擇、衣服ノ制度等ニ至リ、何カラ何ニマデ、悉ク司職ノ官ヲ設ケテ、之ヲ世話スル仕組デアツテ、人民ハ或ハ却テ其ノ煩ニ耐ヘナカツタカト考フル程デアアル、然レドモ是レ即チ王道ノ王道タル主意ヲ發揮シタルモノデアツテ、其ノ精神ハ實ニ民ヲ恤ミ民ヲ愛スルト云フ仁即チ「ひゆうまにち」ニ出デタルモノデアアル、漢儒ノ言エ政以禮爲本、禮以仁爲本ト云ヘリ、仁ハ忠恕ナリ、慈愛ナリ、忠恕慈愛ノ政ハ社會政策ノ根本的觀念デアアル、故ニ仁政ヲ施シテ、鰥寡孤獨ヲ憐ミ、貧民ヲ救済シ、老幼婦女ヲ保護シ、災害ヲ防キ癘疾ヲ惠ミ教化ヲ周クシ、風俗ヲ厚カラシムルト云フ様ナ事柄ハ總テ社會政策ノ最モ重要ナル項目デアツテ、所謂ル王制ノ眼目モ亦此等ノ要求ニ應ジテ、制作セラレタル仕組ニ外ナラナイノデアアル、故ニ此ノ王道ヲ表榜スル支那太古ノ政治ハ、其ノ形式コン變ヘ其ノ精神ニ於テハ、誠ニ美ヲ盡クシ、善ヲ盡クシタル良政ニシテ、我々共カ今日最モ進ンタル政治ト認メ居ル社會政策ト、全然其ノ根本ヲ同シクスルモノト云ハネバナラヌ、

ソコデ今日ノ社會政策ナルモノハ前ニ述ヘタル如ク、其ノ範圍甚タ廣漠タルモノデアツテ、如何ナル制度ヲ立テ、如何ナル經營ヲスルガ社會政策ダト云フコトハ、頗ブル困難ノ事デアツテ、此ノ政策ノ傾分ハ劃然ト明ニ限定スルコトガ出來ナイノデアアル、例ヘバ勞働時間ノ制限トカ救貧法ノ設定トカ云フコトハ、其ノ效果ハ兎ニ角モ施設其物ガ社會政策タルコトヲ明示シテ居レドモ、多クノ官業若クハ公有事業ニ至レバ、其ノ形式ハ社會政策ニ基クモノラシキニ拘ハラズ、其實此ノ政策ニハ全然沒交渉ノモノモ鮮ナカラザレバ、法令制度其物ノ外形ニ因テ、社會政策ノ範圍ヲ定

メルコトハ到底出來ヌコトデアル、併其ノ施設ノ目的ニ就キテ之ヲ判斷スレバ、必スシモ社會政策ノ何物タルコトヲ了解スルコト難カラズト信ズルノデアル、即チ社會政策ハ其ノ形體ノ如何ヲ問ハズ、其ノ精神トスル所ハ要スルニ仁ノ一字ニ在テ、所謂ル「ひゆるまにち」ヲ實現スルト云フコトデアル、約言スレバ仁政ヲ施スニ過ナイノデ、支那先王ノ政ト聊カ異ナル所ナキハ私ノ疑ハサル所デアル、夫ノ資本制度ノ發達ト共ニ近世ノ經濟社會ニ現ハレ來リタル、諸種ノ勞働問題等ハ三代ノ太古ニ夢想タモ及ハザル事實ナルヲ以テ、此等ノ問題ニ關スル政策ノ王制ニ見ヘザルハ勿論ノコトナレドモ、<sup>(10)</sup>農業關係ノ事柄、商工ノ取締、疾病、衛生事項、及貧民救濟等ニ關スル諸問題ニ對シ、今日ノ社會政策主義者ガ必要ト認ムル總テノ施設ハ其ノ主意ニ於テ三代ニ悉ク行ハレ居タリト云フモ亦過言ニアラザルガ如シ、人或ハ疑ハン、保險事業ハ其ノ目的トスル事實即チ火災ナリ生命ナリ、固ヨリ三代ニ於テモアルベキ筈ナルニ、コノ一事ノ闕如スルハ如何ト、此ノ疑問ハ尤モナレドモ、保險事業ハ太古、共同生活ヲ營ミ相互援助ノ行ハレツツアツタ社會ニ於テハ起ルベキ問題ニアラズ、例ヘバ周官ニ定メアルガ如キ社會ニアリテハ、人々相依リ相助ケテ共同生活ヲナシ、少ナル災害吉凶ノ費用ハ、隣里鄉黨ニ於テ之ヲ分擔シ、大ナル不幸ハ國王之ヲ救濟スルト云フ風ナレバ、此等ノ社會ニ於テ、保險ノ要素成立セズ、危險ノ觀念ハ成立セザリシモノデアル、三代ノ時分ニハ保險事業ナシト雖トモ、隣里黨鄉及國家、皆ナ一般ニ人ノ財產生命ヲ保險シ居タルニ同シコトデアル、是レ別ニ保險制度ノ起ラザリシ原因デアラフ、兎ニ角社會政策ハ支那ノ政治家及學者ニ於テハオ手ノ物デアリマシテ、其ノ根本思想ハ、太古ヨリ今日ニ至

(10) 宋編曰ク古之酒禁爲亂徳也、漢之酒禁爲廢教也、廢教而禁似若非法、然猶有崇本抑末之意、至其後也、三變而爲爭利之術、宜乎亂政之日蕃而俗不古也

(11) 勞働問題ハナシト雖モ、周官ノ大宰九職ノ内ニ、間民無常職轉移執事トアリ、常職者テ期ケテ生材ニ任スル勞働者ヲ云フナリ

ルマデ一貫シテ持續シテ居タモノデアル、實行ハドウデアツタカ少ナクトモ説ニ於テハ、仁政即チ王道ヲ實現スル事ガ、支那政治ノ根本思想デアリタルガ故ニ支那ノ學者ハ此ノ社會政策ト云フコトハ、少シモ疑ハズ、寧ロ當然ノコトトシテ、歡迎スルデアラフト信ズルノデアル、我々ノ見ル所テハ社會政策ハ西洋ヨリモ支那ノ方ガ發祥地デアツテ、本家本元デアルト云ツテ差支ナシト思フノデアル、

而シテ支那ニ於テ斯クノ如ク社會政策ガ往古最モ盛ニ發達シタニハ、一ツノ奇怪ナル原因ガアル、ソレハ他ニアラズ、支那ノ政事ニ於ケル根本的ノ觀念ガ、上下正反對ノ理想ニ支配サレテ居ツタト云フ事實デアアル、即チ詳言スレバ上ニ立テル君主ハ、民ハ國ノ本ナリ、民アリテノ君ナレバ、民ヲ恤ムヲ以テ君ノ義務トスルト云フノ理想ヲ懷キテ、天下ヲ支配シ、之ガ下タル臣民ハ國家アツテノ臣民ナリ、國君ノ爲メニ總テヲ犠牲ニスルハ、臣民ノ義務ナリト信シテ居タルコトデアアル、君ハ民ヲ以テ本トシ、民亦之ヲ理想トシテ、個人主義ノ發達ヲ催シタランニハ、此ノ面倒ナル社會政策ハ、中々實行サレルモノニアラズ、君ハ民ヲ本トスルノ理想ニ依テ、仁政ヲ施シ、種々ノ世話ヲヤキ、民ハ國君ノ命ハ絕對ニ反ク可ラズ、國アツテノ民ナリト思惟シ居タルヲ以テ、如何ナル煩雜ノ政策モ、喜ンテ之ヲ甘受シタルナリ、昔シノ學者ハ東洋ノ人民ハ卑屈ナリト嘗リタルモ、卑屈ニアラズ、歷史上ノ理想トシテ、服從ヲ義務ト考ヘ居タルノデアル、是レ即チ干涉政策ヲ行フニ、最モ便利ナリシ原因デアアル、人民ガ國家ニ對スルノ理想、斯クノ如クニシテ、國家ハ人民ノ國家ニアラズ、人民ハ國家ノ人民ナリト云フ理想ニ支配セララルル國々ニ在リテ、社會



政策ノ發達シ居タル適例ハ希臘デア、太古ノ希臘人ハ我日本及支那ノ如ク個人ノ觀念ニ乏シクシテ、人民ハ絶對的ニ國家ノ忠僕トシテ、國家ノ爲メニ生存スルモノノ如ク認メ居タルヲ以テ、社會主義及社會政策ハ太古希臘ニ於テ、最モ早ク行ハレ、希臘ヲ以テ此主義此ノ政策ノ發祥地ノ如ク信スル者アルハ、偶然ニアラザルベシト思フ、併シ私ノ考ニテハ支那ニ比スレバマダマダズツト幼稚デアツテ支那ノ王制ノ如キモノハ希臘ニハ出來ナカツタ様デア、

サテソコデ我日本ハドウデアアルカト云へバ、矢張り支那ノ如ク、否支那ヨリモ數倍強固ナル國家の觀念ヲ有シ、國家アツテノ人民ニシテ、人民ノ權利ハ國家ノ權利ノ殘物デアルト云フ理想ニ支配サル、ニ拘ハラズ、國家ヲ代表セラルル天子ハ人民ノ天子ナリ、天子アツテノ人民アルニアラズ、人民アツテノ天子ナリトシテ、歷代ノ天皇皆ナ仁政ヲ行フヲ其ノ職責トシ玉ヒ、仁ト愛トヲ以テ政治ノ精神ト爲シ玉ヒタルコトハ、歴史ノ明示スル所デアツテ、救濟憐恤ニ關スル諸制度ハ、支那ニ劣ラズ盛ニ行ハレ居タルコトハ令及古書ノ明文ニ遺ツテ居ル所デア、加之ナラズ後世幕府時代トナリテモ、種々ノ動機ニ依リ、中央政府若クハ各藩ニ於テ思ヒ思ヒニ此ノ政策ヲ行ヒ居タルコトハ、顯著ノ事實デア、故ニ近世ノ社會政策論者ハミナ其範ヲ西歐ニ取リ、此ノ政策ハ其萌芽ヲ西歐ニ發シ、其成果ヲ西歐ニ收メタルガ如ク思惟スルモ、實ハ支那及日本ニ於テハ、政治ノ根本ヲ社會政策主義ニ取リテ、之ヲ實行シツツアリタルニ氣付カザリシハ頗ブル奇怪ノコトデア、

然レドモ一步ヲ進メテ之ヲ論スレバ社會政策ガ東洋ニ古代ヨリ行ハレテ居タトカ、歐米ニハ盛ニ

行ハレテ居ルトカ、何人ガ之ノ政策ヲ取ツタトカ、何人カ之ニ反對シタトカ、又ハ某學者ハ社會政策主義デアルトカ、無イトカ云フ様ナコトヲ唱ヘルハ、皆政治學ヲ知ラヌ、迂論俗説デアアル、何トナレバ社會政策ノ根本的觀念ハ、仁ニアリ、「ひゆうまにちー」ニアリ、其ノ行事ハ禮ニアリ「おるだー」ニアリテ、多數人民ヲ教化シ、向上セシムルガ目的ナル以上ハ、其ノ目的ハ正サニ國家其物ノ目的ト符合スルモノニシテ、如何ナル政府、如何ナル政治家ト雖ドモ、此ノ目的ヲ無視シテ、我ハ社會政策ニ反對スル者ナリト云ヒ得ベカラサルノデアアル、社會政策ニ反對スル者ハ、仁政ニ反對シ、忠恕慈愛ヲ否認スル者ニシテ、桀紂、にろ、かりぎゆらノ如キ狂者ノ外ニハ之ナキ筈ナレバ、社會政策ガ古代ヨリ何クノ邦國ニモ行ハレタルコトハ、寧ロ當然ノコトデアツテ、其行ハレザリシハ變態デアアル、天運否塞、日月光明ヲ失シタルカ如キ非常ノ場合デアルト云ハネバナラス、故ニ社會政策ノ旗幟ハ靡ヲ攘フノ旗ナリ、敵味方堂々相對シテ戰フノ旗幟ニアラズ、社會政策ハ絕對ナリ、相對ノモノニアラズ、強テ之ニ反對スルモノヲ求ムレバ、虛無主義ナリ、破壊主義ナリ、國家ヲ認メ政府法律ヲ認ムルモノニシテ、社會政策主義ニ反對スルハ、自家撞着ノ甚タシキモノデアアル、社會政策ハ洋ノ東西ヲ問ハズ時ノ古今ニ拘ハラズ、國家ノ成立以來、政治界ニ聯綿タル正統ノ權利ヲ有スルモノニシテ、何人モ之ヲ犯スコト能ハサルモノデアアル、